

オスプレイ陸揚げ、配備阻止!! 岩国現地大行動に参加!!

7月22日、23日と連日にわたり、私たちJR東海労新幹線関西地本はJR総連の仲間たちと共にオスプレイ陸揚げ配備阻止行動に参加してきました。そもそもこのオスプレイはアメリカ本国でもその安全性が疑問視されているのです。当然、今回陸揚げされる岩国や、その後配備される予定の米軍普天間飛行場の宜野湾市でも地元自治体が反対を表明し反対運動を行っています。特に普天間基地は「世界で一番危険な基地」と言われるように、住宅地のど真ん中に存在しています。こんなところに、オスプレイが配備されるなんて、到底信じられません。

ところが野田首相は「配備自体は米政府の方針で、どうこうしろという話ではない」という信じられない対応をとっているのです。「オスプレイは怖い、来てほしくない」「配備はやめてほしい」世論調査に示される、大多数の国民の願いは踏みにじられているのです。その一方で政府は次々と既成事実を積み上げて行きます。私たちは今こそ反対の意思表示を具体的に行うことが大事だと思っています。それは現地に立って、反対の声を上げ行動を起こすことにほかなりません



オスプレイはアメリカに帰れ! 岩国・沖縄への配備反対!